



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和8年4月1日

企業・団体名 株式会社ミヤモリ

代表者名 宮森 穂

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和 7年4月1日（宣言日又は令和7年4月1日）～令和8年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 製造過程で発生する裁断時の生地ロスからの二次製品研究開発</p> <p>【実施状況】 富山県令和7年度産学官オープンイノベーション推進事業費補助金に採択され、生地ロスを炭化させ、脱臭剤、顔料の開発を行いサンプル完成。</p>
2	<p>【目標】 衣類のロングライフを目指し、小矢部アウトレットにオープンした衣類お直しの実店舗”リフォルメ”の安定的運営</p> <p>【実施状況】 オープンから一年が経過。オープン当時はパンツ裾上げが全体の95%であったが、リペア文化を発信することにより、現状ではパンツ裾上げが70%、製品リペアが30%まで上がった。”すべての捨てるを過去にする”をコンセプトにしているように、リペア文化の発信がうまくいっている</p>
3	<p>【目標】 ミヤモリが目指すサーキュラーエコノミーの発信と共有</p> <p>【実施状況】 大阪・関西万博の「明日を変える知財のチカラ」に特許庁から推薦頂き出展。9日間にわたり、”ミヤモリが考えるサーキュラリティへの知財活用”の展示を行う。当社ブースのみで約6,000人の来場があり、インスタ新規登録者が1,100人にのぼった。また、会社訪問、並びに登壇の機会も増えて1年間で22社(団体含め)、600名あまりにミヤモリの目指すサーキュラリティの考えを共有させていただいた</p>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。